



議会議員研修報告書

議員名
今野雅信

期 間	出張先
令和 5年 1月10日から 令和 5年 1月11日まで 計2日間	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員中央研修所 <input type="checkbox"/> 全国市町村国際文化研修所
研 修 テ ー マ	
令和4年度市町村議会議員特別セミナー③	
報 告 大 要	
1. 研修日程及び講師	
第1日目 1月10日 13:30～15:00 「歴史に学び地方の未来を読む」	
講師：歴史家・作家 加来 耕三 氏	
15:15～16:45 「地域の魅力と創造と発信」	
講師：事業構想大学院大学学長 田中 里沙 氏	
第2日目 1月10日 9:30～10:30 「ポストコロナ時代における自治体と議会の役割」	
講師：東京都立大学法学部教授 大杉 寛 氏	
10:45～12:15 「日本経済の課題と展望」	
講師：ニッセイ基礎研究所常務理事・チーフエコノミスト 矢嶋 康次 氏	
2. 研修内容要旨	
「歴史に学び地方の未来を読む」の講演では	
正しい歴史を学び、歴史を現代や日常においてどう活用できるのかをテーマに戦国時代や明治維新の例を中心に講義を受けた。	
「地域の魅力の創造と発信」の講演では	
社会・地域・企業を取り巻く環境変化のなか、地域資源や人材育成を生かし共創（コ・クリ	

エーション) のための情報発信とコミュニケーションが必用だと、事業構想大学院大学の事例を中心に講義を受けた。

「ポストコロナ時代における自治体と議会の役割」の講演では

地方制度調査会答申をどう受けとめるか、Beyond コロナの適疎・適密社会と「協創」、自治体の未来図と議会・議員の役割について講義を受けた。

「日本経済の課題と展望」の講演では

2023年はどんな年になりそうか、新冷戦構造で何が変わるのか、日本の稼ぎ方、新しい資本主義について、今の世界情勢を事例に講義を受けた。

3. 感想、今後の議員活動への活用など

今回の研修を受けて、地方自治の在り方や議員としての役割を改めて考える学びの場となりました。4名の先生の講演は、内容は違いますが共通して、時代の流れを読み解き、未来を想像（創造）していく必要性と公共私連携による共創（コ・クリエーション）が大切だと学びました。

地方自治では「公平」を重視すべきだが「持続可能性」を基本に据えることが重要で「継続性」や「前例」を重視するあまり「公正」でも「正義」でもない、行政の言い分による「公平」が罷り通っていないか、絶えずチェックすることが議会・議員の役割です。

議員としてコミュニティ・リーダーであるとの自覚のある言動のもと、地域における「共創力」を高められる議会・議員に努めていきたいと思えます。